

# ぴっころ

～子育て支援センターには楽しいことがいっぱい～



※揖斐川子育て支援センターは、子育て中のお父さん、お母さん、妊婦さん、おじいさん、おばあさんどなたでも利用できる場所です。気軽にお出かけください。

- ◇通信ピッコロを中旬に発行しています。  
図書館・公民館・保健センター・役場・振興事務所などに置いてあります。
- ◇ホームページ  
揖斐川町 <https://www.town.ibigawa.lg.jp>  
揖斐幼稚園 <http://www.ibi-youchien.ed.jp>

## 揖斐川子育て支援センター

揖斐川町上南方 193 TEL 23-1136  
開館日 月曜日～金曜日・第3土曜日  
9:00～16:00

- ◎町内の幼稚園 なかよしタイム  
毎月第2水曜日  
時間：10:00～11:00  
※雨天の場合は中止とさせていただきます。
- ◎揖斐幼稚園の開放日  
3月6日(水)  
直接幼稚園へお申込みください。  
TEL22-6008 (当日可)

## 3月の活動予定

行事の申込みは、前月第3水曜日より実施日前日まで受付けています。(電話予約不可)

日	月	火	水	木	金	土
					1 ひな祭り会	2
3	4 年齢別交流 (りんごグループ)	5 年齢別交流 (いちごグループ)	6	7 ピアノ演奏会	8 おさんぽ会 (藤橋道の駅)	9
10	11 年齢別交流 (さくらんぼグループ)	12	13 ありがとうの会	14	15	16 開館日
17	18 リフレッシュ体操	19 年齢別交流 (ひよこグループ)	20 春分の日	21	22 お話ルーム 誕生会	23
24	25	26 ハローワーク大垣 マザーズコーナー 巡回相談	27	28	29	30
31						

### 「3月の年齢別交流」

同じ年に生まれたお子さんと親さんの交流の時間です

- 🍏りんごグループ (2020.4.2生～2021.4.1生)
- 🍓いちごグループ (2021.4.2生～2022.4.1生)
- 🍓さくらんぼグループ (2022.4.2生～2023.4.1生)
- 🐣ひよこグループ (2023.4.2生～現在)

### 『おたのしみ会』

子育て支援センターは、子ども（0～18歳未満）に関するあらゆる相談窓口です。  
一人で悩まないで気軽にご相談ください。

- ◎育児相談は毎日、子育て支援センターで直接受け付けています。
- ◎行事など変更、中止になる場合がありますので、事前にお問い合わせください。

## 揖斐川町は、住民の皆さんの子育てを応援しています。 ～子育て支援センターの紹介～

### みんな大きくなったよ ～いっぱいあそんで、みんな元気いっぱい～

支援センターには、毎日たくさんのお子さんが遊びに来てくれます。顔を合わせることが多くなると、子ども達はお互いに興味を持ち、言葉は出なくても目と目で何やらお話をしています。そんな子ども達の姿を見て、パパやママは嬉しそうにしています♪一緒に遊んだり、時には玩具の取り合いでケンカをして泣いたり、友達との関わりの中で、子ども達はどんどん成長しています。一人一人の成長を、みんな喜び、みんな子育てを楽しんでいます。



みんなできいっぱい遊んだよ！



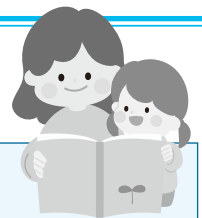
トイレに行くのご褒美シール！



こんにちは♪

## 子育てちゃんねる

### 春に読みたいおすすめ絵本



今回は、おすすめ絵本を2冊紹介します。

#### ●『じっちょりんのあるくみち』（かとうあじゅ 作/文溪堂/2011年5月発行）

図書館でも人気のシリーズ絵本のうちの1冊です。ふしぎでちいさないきもの「じっちょりん」家族が花の種をあちこちに植えるためにお散歩します。じっちょりんたちが種を植える場所はコンクリートの道や壁の小さな隙間などさまざまです。作中では、春の花もたくさん紹介されており、読んだ後に外に出かけたくなる絵本です。

#### ●『おねぼうさんはだあれ？』（片山令子 文、あずみ虫 絵/学研プラス/2021年3月発行）

うさぎのミミナちゃんが冬ごもりからなかなかおきてこない動物の友だちをおこしにでかけるお話です。筆で描かれている温かみのある色彩が春の訪れを感じさせる1冊です。

春に関する本は図書館でたくさん取り揃えています。図書館で本を読みながら少し早い春の訪れを感じてみるのはいかがでしょうか。

## うきうき園キッズ！ 城台山公園は、秘密基地

～いび幼稚園～

いび幼稚園は城台山の麓にあり、体力作りを兼ねて何度も山に登っています。春にはすぐに「疲れた」と言っていた子ども達ですが、秋になると走って階段を駆け上がって行けるくらい体力が付いてきます。登る途中、幼稚園に向かって「やっほ〜」と叫ぶと、「聞こえるよ〜頑張れ〜」と応援の声が返ってきて、ますます元気になります。

城台山公園に着くと、早速思い思いの遊びが始まります。木と木の間にロープを張り、布を洗濯はさみで留めて壁に見立てた家を作り、日陰で涼しいことから「クローラーの部屋」と名付けました。丘の上を「2階」と呼び、草や葉、石などを集めてパーベキューごっこが始まりました。また、何度も試して「こい」で一番滑るものを見つけ出し、「2階」から草の流し素麺も始まりました。丘から滑り降りたいけれどお尻が痛いから困ると、段ボールを敷いて滑り台を作るなど、友達と意見を出し合いながら試行錯誤を繰り返して、やりたいことをどんどん実現させていきます。

自然の中での遊びには様々な危険が伴いますが、「危ないから遊ばない」のではなく、「どうしたら安全に遊べるか」を子ども達と考えながら、一人一人が主

役となつて伸び伸びと遊べるようにしていきたいと思

